

## ビジネス・防災対策委員会 基本方針（案）

ビジネス・防災対策室 ビジネス・防災対策委員会  
委員長 飯 笹 壽久

1 2021年8月の大河は2019年8月の大河に匹敵する甚大な被害を佐賀にもたらしました。佐賀は災害が比較的少ない県と言われてきましたが、近年は自然災害が頻発しており、防災・減災への意識向上および取り組みが必要となっています。また、昨今の新型コロナウイルス感染症により、生活は様変わりしています。県内の経済状況においてもまだまだ先行きは不透明であり、県内企業の人材不足、新型コロナウイルスに対応したビジネスへの課題意識が高まっています。

7 まずは、青年会議所として災害時の活動の意義や役割を認識するために、災害時対応や他の団体との連携方法を学ぶことで、メンバーの防災意識を高めていきます。そして、災害時に迅速な対応をするために、他団体を含む、締結している青年団体と研修を行い、連携強化することで、早期の復旧、物資確保・供給につなげていきます。さらに、安心・安全なまちづくりのために、行政・地域と協力しあうことで、災害に強いまちづくりにつなげていきます。また、若い世代の防災・減災意識の向上のために、親子参加型の防災事業を展開することで、災害が子どもに与える影響の軽減につなげます。そして、災害時に重要となるボランティアへの参加意識向上のために、大学・短期大学・専門学校等の団体と連携を進め、ボランティア数の確保、学生への学びにつなげていきます。さらに、ビジネス分野においてはメンバーの社業発展のために、メンバー自身の課題解決に向けた場を提供する事で、メンバーの学びや社業の発展につなげ、佐賀経済の活性化に貢献し、メンバー一人ひとりが地域を担う青年経済人としての質の向上を目指します。

19 ウィズコロナの時代生き抜き、アフターコロナに向けてより良い地域社会創りに貢献していくには、団体や地域の方々と手を取り合い、佐賀青年会議所でだからこそできる事に挑戦し続け、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

23

24 [事業計画]

- 25 1. 防災事業の企画・運営（6月）
- 26 2. 新年会の企画・運営（1月）
- 27 3. サマーコンファレンスのアテンド（7月）
- 28 4. 例会の企画・運営（5月・9月）
- 29 5. 薩長土肥の企画・運営（11月）
- 30 6. 会員拡大 拡大目標 委員会8名（全体40名）